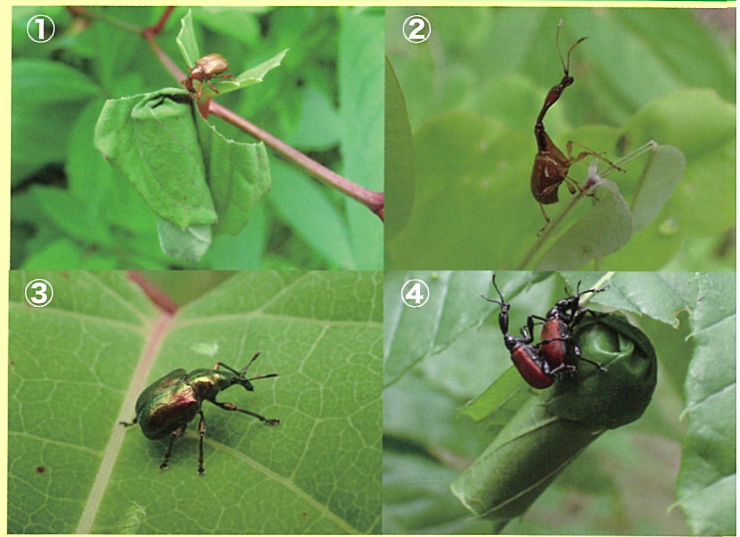


葉を上手に巻く虫、集合！



①葉を巻きながら中に卵を産み、最後に巻いた葉を落とすヒゲナガオトシブミのメス ②同オス。オスは葉を巻かない。③ドロハマキチョッキリは葉をクシャクシャにまるめる ④クリの葉を巻くオトシブミ。上がオス



乙女高原の 草原を守る！

主催／乙女高原ファンクラブ、山梨市、山梨県



※参加される中・高・大生主の指導はボランティア参加正月費を別途お支払いください



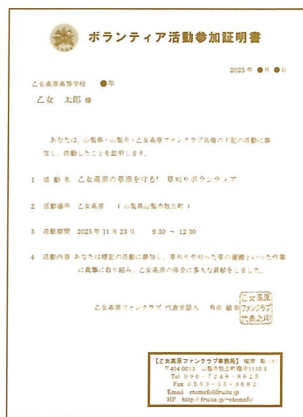
第24回 乙女高原の草原を守る！（クマ出没心配のため有志で実施）記念写真 2025. 11. 23 （撮影：三枝三郎さん）

集まれ、乙女高原草刈りボランティア!

「第25回乙女高原の草原を守る!」



キッズボランティアブナじいさんに落ち葉のふとん
(撮影:三枝三郎さん)



希望者にはボランティア
参加証明書を発行します

こんな作業をします!

- ・草原内の枯れ草の刈り取り ・刈った草の運び出し
- ・遊歩道のロープ回収 ・草原内のゴミ拾い
- ・キッズボランティア (子ども向けプログラム)
ブナじいさんの根もとに、落ち葉のおふとんを!

★点線の部分は林道です。道幅がせまくカーブがきついため、通行にはご注意ください。10人乗りの車でしか通行できません。牧丘入口から乙女高原までの所要時間は、約40分です。

乙女高原までの送迎車を運行します(無料)。申込み・問い合わせはメールのみ受け付けます。

詳しくは専用ブログをご覧ください。



いっしょに活動しませんか

乙女高原ファンクラブ

「乙女高原の自然を次の世代に確実に譲り渡すために、その自然と、人と自然とのかかわりを育む」を目的に、2001年4月に発足しました。以下の4つの柱を設けて活動しています。現在入会者数は977名。入会費・年会費無料。

- 調査研究活動 どんな自然が成り立っているのか、どんな歴史があるのかを知る。マルハナバチ調べ、ヤマアカガエル産卵調査など。
- 環境教育活動 乙女高原の良さや価値を多くの人に伝えていく。乙女高原フォーラム、乙女高原案内人の活動、小中学校等の自然学習支援など。
- ボランティア活動 乙女高原の自然を守るために汗を流して働く。遊歩道づくり、草刈りボランティアなど。
- 情報交換活動 多くの人と意見をやりとりしながら守っていく。世話人会、座談会、ホームページの運営など。

●ファンクラブへの入会・お問い合わせ

乙女高原ファンクラブ事務局
〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平1110-3
tel 090-7246-8625
web <https://fruits.jp/~otomefc/>
mail otomefc@fruits.jp



■日時

2026(令和8)年11月23日(月・勤労感謝の日)
午前9時30分～12時30分(小雨決行)
(荒天時の予備日 29日(日))

■集合場所

乙女高原グリーンロッジ

■持ち物 弁当、飲物、雨具、

おわん(豚汁用)、はし、お持ちの方は
刈り払い機、鎌(かま)

※刈り払い機持参の方は、ロッジ駐車場を
優先してお使いください

■参加費 無料(保険には主催者で加入します)

手を入れて守る草原の姿

～乙女高原草刈りイベントの背景～

少なくとも江戸時代以降、乙女高原は麓集落の草刈り入会地でした。秋の終わりに草を刈って持ち帰り、冬の馬の飼料に混ぜたり、畑で燃やして肥料にしたりしたそうです。戦後はスキー場として開発され、スキー場として管理するために草刈りが続けられました。草刈りする際に草原内に生えてきた若木も一緒に刈っていたので、森林へと遷移することなく、草原の姿を保ってきました。

ところが時代には逆らえず、スキー場は閉鎖。スキーのために続けられてきた草刈りも途絶える運命でした。草刈りがなくなれば草原もなくなる…と心配した市民が立ち上がり、ボランティアで草刈りをしたのがこのイベントの始まりです。その後、子どものためのプログラムを開発したり、一度にたくさんの草を運ぶためにゴミ収集車を地元企業からお借りしたりと進化し続けています。

近年シカの食害によって花が激減しましたが、山梨市により2015年秋に設置されたシカ柵のおかげで、多くの花が咲き乱れる草原が戻ってきました。

■草刈りイベントについて

お申し込み・お問い合わせ

できるだけ11月13日(金)までにお申し込み下さい。

山梨市役所観光課

「乙女高原の草刈りイベント」係

tel 0553-22-1111 (代)

mail kanko@city.yamanashi.lg.jp



QRコードからも申し込みます

■後援/ 峡東地区緑化推進会議、山梨市教育委員会

～その他、多くの団体の協力を得て実施しています～